

保護者の皆様へ (2022.3.11. Ver.11) 北海道教育委員会

新型コロナウイルス感染症については、長期的な対応が続いており、保護者の皆様には多大なご協力をいただいていることに、心から感謝申し上げます。

春休みに入りますが、

- 全道の感染者数のうち、19歳以下の割合が3割を超えていること
- 道内でも感染力が強いとされるオミクロン株の「BA.2系統」の感染事例が確認されていること
- 卒業・進学等に伴う人の動きや会食機会の増加など、感染リスクの高まる時期を迎えること
- 学校では、長期休業明けに感染拡大するケースが多く確認されていること

などから、**新学期を安全・安心にスタート**するために、引き続き、感染症対策にご協力いただきますようお願いいたします。

「軽い風邪っぽいな…」と思う症状でも、外出を控えて自宅で休養



オミクロン株は、

- ★ 感染拡大のスピードがとても速い
- ★ 子どもが感染しやすい
- ★ 「ふつうの風邪っぽい症状」が多い
(鼻水、頭痛、だるさ、喉の痛み等)

👉 **症状に早く気付いて、
「外出しない・自宅で休養」
することが大切です**



心配があるときは、①かかりつけ医に相談してください。



診療・検査医療機関
北海道ホームページ

②かかりつけ医がない場合は、次のいずれかに電話相談してください。

・北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター

☎ 0120-501-507 (24時間)

・最寄りの診療・検査医療機関

「ハイリスク」を避け、安全・安心な春休みを

【長期休業中にみられた集団感染事例の特徴】

部活動の休憩・着替えの時に感染拡大

★ マスクなし会話・飲食

★ 更衣室など、換気が不十分な
狭い部屋を大人数で使用



友人とのお泊まり会で複数名感染

★ マスクなし会話・飲食

★ 同居家族以外との長時間の接触



軽い風邪症状で講習に出席して
感染拡大

★ 症状がある状態で登校



👉 **会話するときはマスクを着用
人が集まった場所では換気を徹底
軽くても症状があるときは家で休む
「感染の連鎖」をつくらないこと**

出席停止等の考え方（2022.3.11現在 ※感染状況等により変わることがあります）

オミクロン株の感染拡大を受け、保健所が疫学調査の重点化を行っており、学校で感染者が出た場合にも、同居の家族以外は疫学調査の対象とならないこととなっています。（※従来どおりの対応を行っている保健所もあります。）

学級で一人感染者が出た場合、学校医の助言などを踏まえて、学級閉鎖とする場合もありますし、学校が行動履歴等から「感染の可能性がある方」をリストアップし、出席停止の対応（閉鎖はしない）を行う場合もあります。ご理解とご協力をいただきますようお願いします。



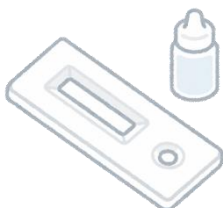
	お子様・ご家族の状況	学校の対応
①	お子様の感染が確認された	治癒するまでの間「出席停止」
②	お子様が濃厚接触者に特定された（同居する家族の感染が確認された）	保健所が指定する健康観察期間「出席停止」
③	お子様が学校等から「感染の可能性がある方」としてリストアップされた	感染者と最後に接触した日の翌日から7日間（8日目解除）「出席停止」
④	お子様がPCR検査または抗原検査を受けることとなった（濃厚接触者を除く）	検査結果（陰性）が判明するまでの間「出席停止」 ※民間検査や保険適用外の検査を除く。
⑤	お子様に風邪症状等がある同居する家族に風邪症状等がある	症状が消失するまでの間「出席停止」 ※病院を受診して、新型コロナウイルス感染症ではない診断を受けた場合は、出欠の取扱いについて判断しますので、学校に相談してください。
⑥	「同居する家族が濃厚接触者となった」「同居する家族がPCR等の検査を受ける」などで、感染が不安である	地域の感染状況等により出欠の取扱い（「欠席」の扱いにしないことなど）について判断しますので、学校に相談してください。

道立学校教職員が濃厚接触者及び感染の可能性がある者とされた場合の取扱いは次のとおりです

自宅待機期間は原則7日間です。

ただし、学校事業継続に著しい支障を来す場合は、自宅待機期間の4日目及び5日目に抗原定性検査を実施し陰性確認後、5日目から職員の自宅待機を解除することがあります。

詳細はこちらをご覧ください。



ご理解ご協力をお願いします。

SNSなどによる誹謗中傷等がなくなるよう、ご協力をお願いします

新型コロナウイルスの感染者が出た学校や地域では、感染者やその家族への偏見・差別、SNSによる誹謗中傷等が生じてしまうことがあります。

非難や差別の根っこには、見えない・わからないウイルスへの「不安・恐怖」や「防衛本能」があると言われていています。誰でも感染者になる可能性がありますし、誰の中にも不安や防衛本能はあります。

自分たちにできることは何か、ご家庭でもお子様とお話していただきますようお願いします。



STOP! コロナ差別
＜差別が生まれる瞬間 ②学校＞編
(法務省)